

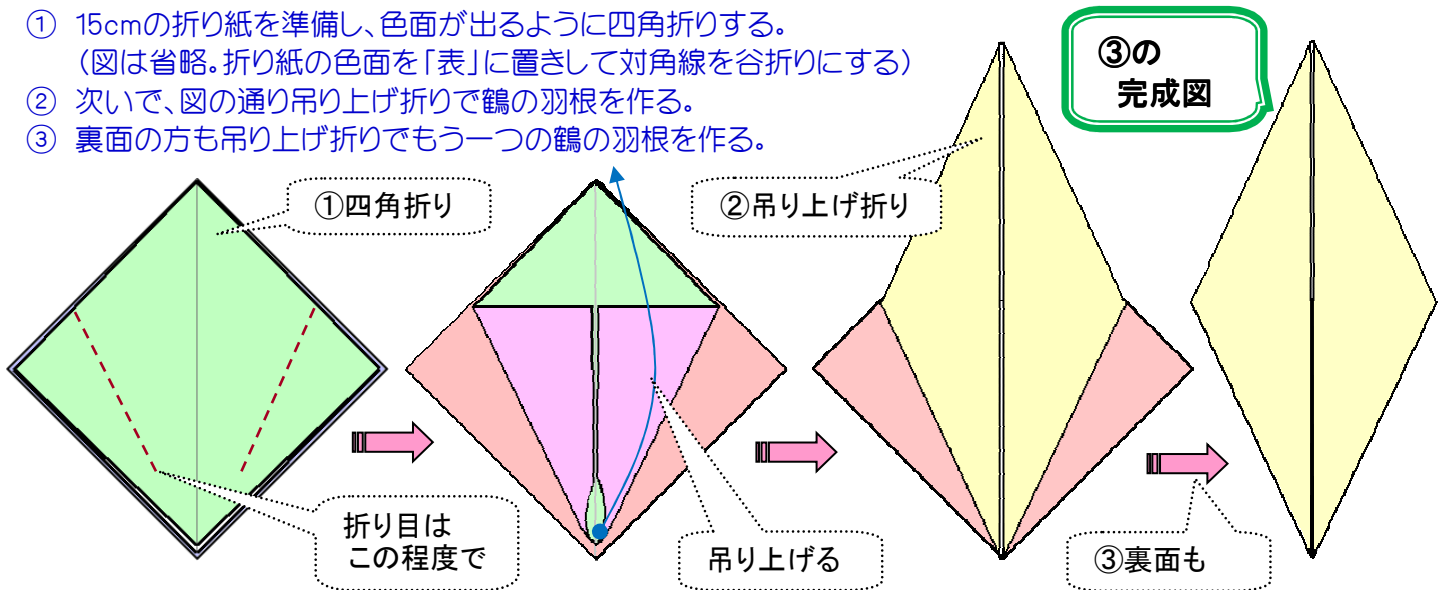
草履の折り方

--- は谷折り

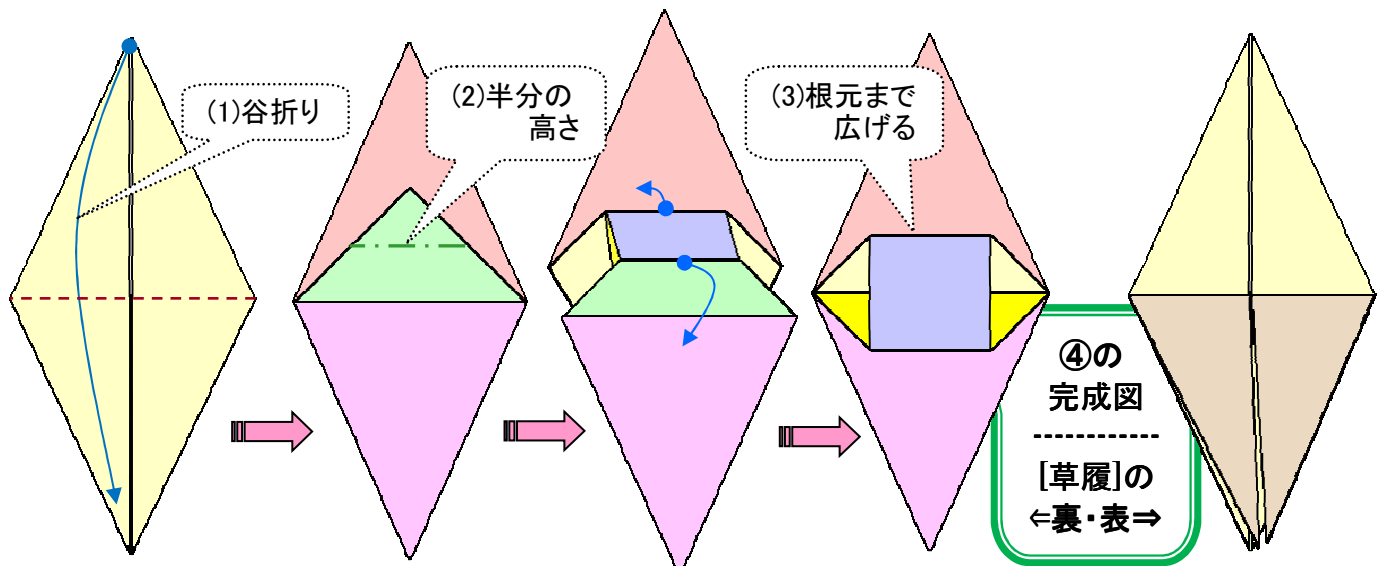
- - - は山折り

草履の折り方は、鶴から発展した折り方です。したがって、ここでは鶴の折り方を引用して説明します。

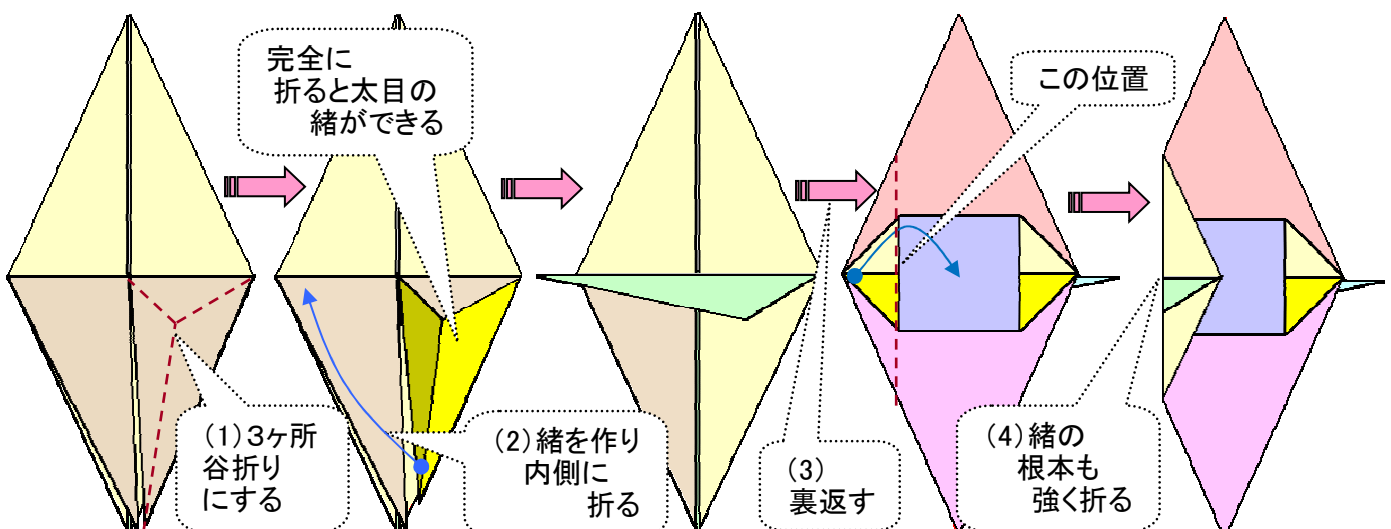
- ① 15cmの折り紙を準備し、色面が出るように四角折りする。
(図は省略。折り紙の色面を「表」に置きして対角線を谷折りにする)
- ② 次に、図の通り吊り上げ折りで鶴の羽根を作る。
- ③ 裏面の方も吊り上げ折りでもう一つの鶴の羽根を作る。



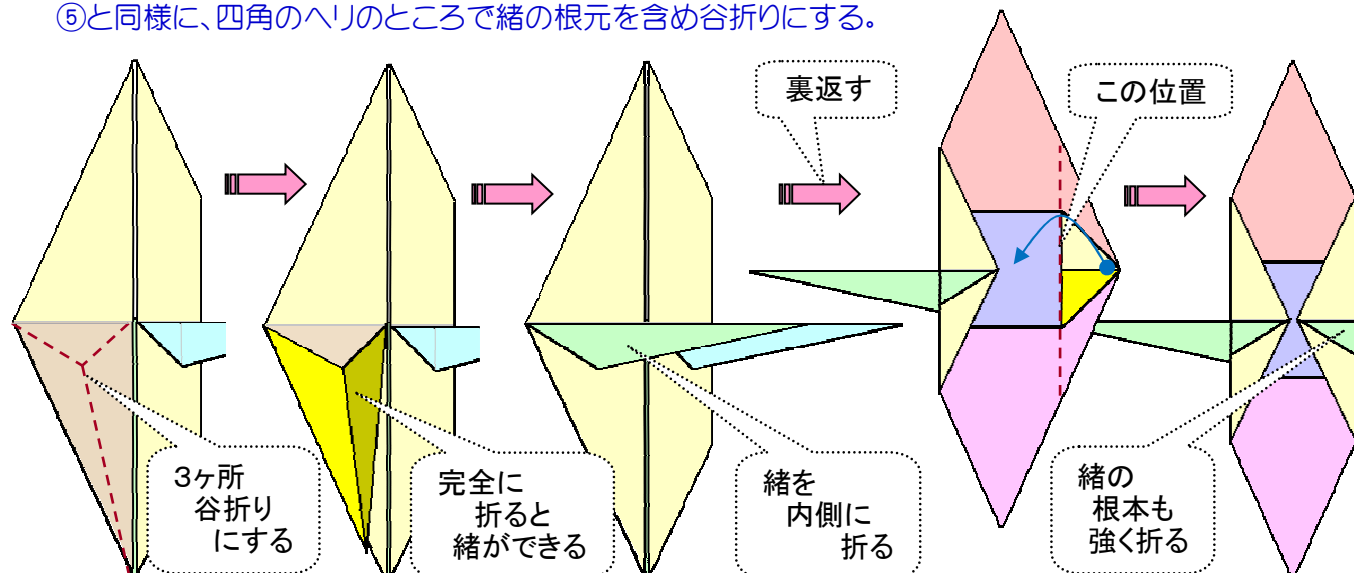
- ④ ③の手前の羽根を(1)中央で下に折り下げる。次いで、(2)三角部分の半分の高さで『うてな折り』し、(3)図のように中央の四角の部分の根元まで広げる。(草履の折り方で、最初に難しい場所)



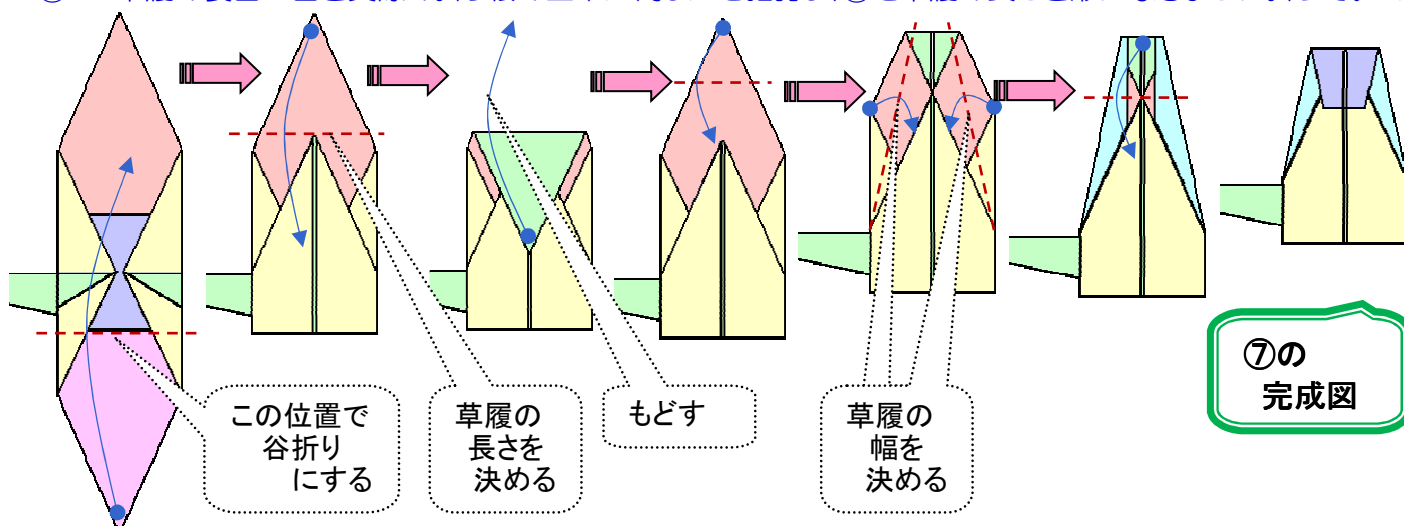
- ⑤ <緒を作る> ④の表側で、鶴の頭 or 尾の片方を(1)図のように3ヶ所谷折りにして、片方の緒を作る。(2)これを内側に谷折りで折り曲げ、(3)裏返し、(4)四角のヘリのところで緒の根元を含め谷折りにする。



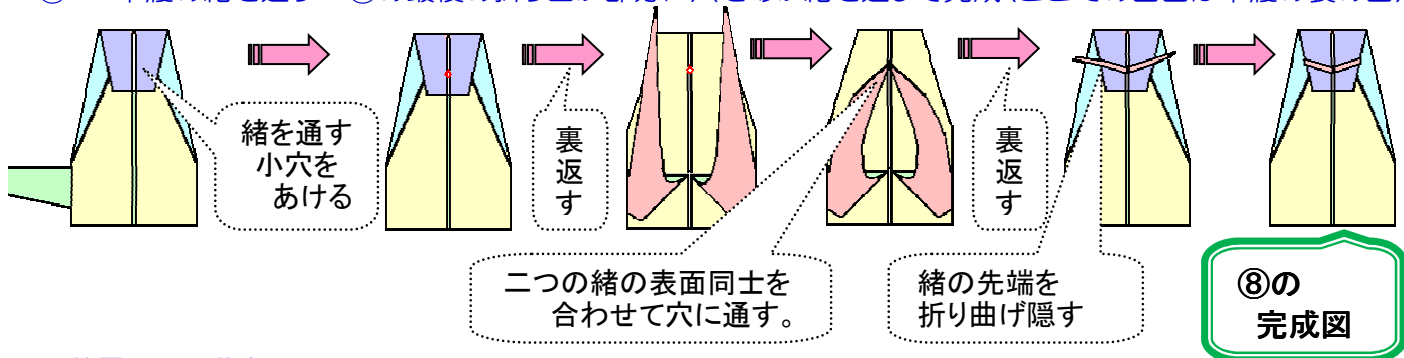
- ⑥ 図のように⑤で作った緒は外側に、もう片方の緒も同様に作り、⑤と同様、内側に折り曲げる。これを裏返し⑤と同様に、四角のヘリのところで緒の根元を含め谷折りにする。



- ⑦ <草履の裏面> 図と実際の折り紙の上下が同じかを確認し、⑥を草履の長さとなるように折っていく。



- ⑧ <草履の緒を通す> ⑦の最後の折り曲げ部分に穴をあけ緒を通して完成(ここでの図面は草履の裏の図)



<草履の形の修整>

最後に、草履の形(写真のように、角を丸めるなど)や、緒の太さなど自分好みに工夫してみてください。



草履の
完成